

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																									
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内にて共有、実践している。	●		・「Vision」、「コーポレートスローガン」、新たに挑戦する4つのソリューション創造を「Mission」としてHPへ掲載し、全社員が共有、各事業部にて実践している。								8	9											17						
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守に関する方針等を浸透させるため、「マイスティアグループ企業行動憲章」および「マイスティアグループ行動規範」を制定し、全従業員へ周知している。 ・品質マネジメントシステムを導入し、品質マニュアル、規程に基づいた内部監査、マネジメントレビューを定期的実施し法令を確実に遵守する仕組みを構築している。																				16						
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・不正競争行為を禁止するため、「マイスティアグループ企業行動憲章」、「マイスティアグループ行動規範」を制定し、全従業員へ周知している。											10									16						
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・次世代を担う各セクションのリーダーを中心に、SDGコンパスに基づいたバリューチェーン分析を実施し、企業活動が社会・環境に及ぼす影響の把握に取り組んでいる。																				16						
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・特許、著作権、商標権等の侵害排除、保護について、「マイスティアグループ行動規範」を制定している。								8.2	9											16						
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・「個人情報保護方針」、「個人情報管理規程」を制定し、個人情報保護を含めた情報セキュリティ教育を全従業員へ実施している。																				16						
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・定期的な顧客満足度調査や外部コミュニケーションを日頃から積極的に行い、顧客の声を施策に反映させるなど双方向コミュニケーションを図っている。																			16	17						
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		・サプライヤー、事業パートナー等と、RBA行動規範の原則及び要件の適用あるものに準拠して業務を行い、適切な対応について認識を共有している。					5				8		10									12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・地震や水害などの自然災害や事故などに備え、危機管理対策本部設置規程(BCP)を策定し、定期的に個別訓練や見直しを行っている。											9			11								13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・次世代の幹部候補育成のため、SDGsコンサルティングを導入している。 ・【予定】2024年4月から階層別教育を実施する。											8	9														17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●		・お客様用のコーヒーなど、フェアトレード商品の購入に取り組んでいる。	1	2				5					8											12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内にて差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・「マイスティアグループ企業行動憲章」、「マイスティアグループ行動規範」で人権の尊重を明記し、差別や各種ハラスメントの禁止については「就業規則」に定めている。 ・ハラスメント防止措置として、毎年4月に方針の周知、相談窓口の周知を行いハラスメント防く体制を構築している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3												16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生法に基づく、安全衛生教育や定期健康診断による健康管理、ストレスチェックの実施など、安全衛生に関する規程を就業規則にて策定している。 ・安全衛生委員会を設置し、労働災害防止やメンタル不調、通勤途上災害など、労使および産業医と連携した安全衛生活動を推進している。			3						8.8																	
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金の原則に沿い、雇用形態による不合理な待遇差がないよう就業規則、賃金規程で賃金体系を定め、グレード等級制度を導入し公正な待遇を行っている。					5.5					8.5		10.2 10.3														
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・育児や介護といったライフサイクルに合わせた多様な働き方を選択できるよう、フレックスタイム制や時差出勤、テレワーク勤務制度を導入している。また、子の看護休暇・介護休暇の時間単位での取得や法定を上回る取得日数を設定するなど、従業員が長く働き続けられる職場環境を整備している。 ・定時退社日の設定やプラスワン休暇の取得促進など、仕事もプライベートも充実できる仕組みづくりに取り組んでいる。 ・福利厚生アウトソーシングサービスである「福利厚生倶楽部」へ加入し、働きやすい環境の整備に取り組んでいる。			3		5.5					8.5 8.8		10.3														
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・「RELO Eラーニング(playse)」を導入し、5,000レッスンを超える豊富な講座を無料で受講できる教育訓練の機会を従業員へ提供している。					4	5.5					8	9														
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生法に基づく、定期健康診断やストレスチェックを実施し、従業員の生活習慣病やメンタルヘルス不調の未然防止に取り組んでいる。 ・バス健診の実施や定期健康診断、人間ドッグの費用補助を行い、従業員が健康を維持できる体制を整えている。			3								8															17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・外国人や高齢者を積極的に雇用し、雇用条件や職場環境において差別しない体制・運営を行っている。 ・女性管理職の比率、障害者雇用率に関する社内KPIを設定し、ダイバーシティ推進を行っている。				4.4	5.1 5.5					8.5		10.2 10.3													16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・時差出勤、テレワーク勤務制度の導入に加え、ウェブ会議など新しい働き方に対する体制や環境を整えている。 ・テレワーク勤務制度規程を策定し、社内でのテレワークを推進している。			3								8	9.1		11	12											
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・事務系の業務に従事する社員を対象に「RPA研究会」と題し、プログラミング勉強会を開催し、各事業部プログラミング技術のみならずその考え方も同時に学び業務に活かしている。また、Microsoft365導入によりDXを推進するための環境を整え、事業においてはIoTシステムやAIの開発等、社内外へ実装している。												8	9.1		11	12										
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		・プライト企業に認定されている。			3	4							8	9										12				

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社マイスティア

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・廃棄物処理法に基づき適正な処理を行い、機密文書などは有価物回収として再利用を行っている。 ・有害化学物質は取り扱っておらず、有機溶剤や劇物などの管理すべき物質は、資格保持者が厳格に管理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・事務所照明にLED照明を採用し、人感センサーの導入、休憩時の消灯を徹底するなど、電力使用量を把握し削減に取り組んでいる。また、エネルギー使用量を把握し、燃費の良い軽自動車やハイブリッド車を社用車に採用し、エネルギー使用量削減に取り組んでいる。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・【予定】2024年4月より簡易計算シートを用いて自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減に取り組む。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・水質センサーシステムの開発を行い、海洋汚染防止に取り組んでいる。 ・水産関連事業で内閣府のムーンショット型研究開発事業に協力している						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・裏紙の利用やごみの分別を徹底している。また、ペットボトルのキャップ回収や日頃の節水を呼びかけている。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・節水型の蛇口やトイレを設置している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・調達においてはRoHS指令の資材類を購入し、自社開発ブランド商品は、何れも低消費電力を追求し、システム設計、社会実装している。 ・魚の活性状態や養殖環境を予測する「Narrow-AI」を開発し、海洋汚染防止に取り組んでいる。										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・ランチのケイタリングは、事前オーダー制にしている。また、冷凍惣菜を販促して頂く等、食品ロス削減に取り組んでいる。	1	2				6.4								12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・植栽を積極的に設置し、環境美化活動に参加するなど、緑の保全を行っている。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・エアコンを最新式にし、デマンドコントロールシステムの導入によりエネルギー使用率の改善を進めている。 ・太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーを利用している。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・廃プラスチック類の分別を徹底し、適正に処理している。													12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・現場への移動の際は、社用車の乗り合わせを行っている。 ・テレワーク勤務推奨により、公共交通機関、自家用車利用を低減している。										9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・2050年カーボンニュートラルを目指し、計画的に太陽光パネルの設置、テレワーク勤務推奨、社用車削減及びハイブリッド車の活用、DX化（ペーパーレス含む）、テレワークによる拠点（床面積＝空調/照明）削減、スマート化（人でないBiz）等、CO2削減に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.17		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社マイスティア

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・品質マネジメントシステムを構築し、QC工程表の社内検査、出荷前検査、または客先検査を実施し、最終合否判定者が安全性や品質についての確認を行っている。			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・介護施設向け見守り支援システム「VINIE Care」や、水産養殖向けに特化したマイスティア汎用IoTプラットフォームサービス「ReCotto-Aqua」も、高齢者が使えるユーザインターフェイスを提供。音声コマンドも開発中。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4				7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●	・天草での協創活動拠点である「hav」は、木造建築を採用。他拠点においても、机の天板や棚も全て木材の家具を揃え、且つ、不要になった場合はリユース、リサイクルを推進している。							7					12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・人口減少、高齢社会による介護職員の人手不足を解決するため、介護施設向けDX推進に向けた協業および実証介護に取り組んでいる。 ・タンパク質クライシス、高齢化社会、海洋資源維持管理のために次世代スマート水産養殖システムの開発&普及。(ReCotto-Aqua) また、人材不足や生産性向上を実現するため次世代スマート生産エコシステムを開発&普及。(In cref)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4					8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15					17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・合志市で開かれる「合志市民まつり」に協賛企業として参加している。 ・ロアソ熊本とスポンサー契約を締結している。 ・県内子ども食堂に寄付を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・ハザードマップを確認し、社内の避難経路の掲示、周知を図っている。 ・個別の避難訓練を計画、実行し、緊急時にスムーズに行動できるよう取り組んでいる。				4							11.5		13.1			16				
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・従業員が地域消防団に所属しており、会社としても柔軟な勤務体系を整備し、活動に対する支援を行っている。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●										9		11	12	13.1							
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・毎月取引金融機関と共にSDGs委員会を開催し、社内のSDGs推進に取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・大学生と高校生を対象に、毎年インターンシップを受入れている。また、アイデアソンを行ったり、「hav」では地域の小中高生に学びの場を提供している。				4					8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・県内優良企業と就職希望者を繋ぐサービスを提供する「Eggplant KUMAMOTO」の運営を行っている。 ・熊本高等専門学校と(一社)熊本県工業連合会主催の「新・閃きイノベーション2023」に参加し、学生の「社会実装」型プロジェクト実習に協力している。				4.4					8.5 8.6										17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	・熊本県立天草拓心高等学校で開催された生徒向けの「進路講和」に参加し、次世代スマート水産養殖システムの実装について紹介する等、働きたい学生に働きかけを行っている。		2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

25 25